

パネルディスカッション

研究データ管理をスタートするための 最大の課題は？

九州大学【地域拠点機関2024～】

システム情報科学研究所 情報学部門

データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援部
門

富浦 洋一

- オープンデータ推進WGでデータポリシー素案を作成 (2018年度)
- 研究データ管理基盤検討TFでRDMに関わるシステム基盤, 支援体制を検討 (2019, 2020年度)
- データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援部門設置 (2022年4月)
 - ポリシー等の整備
 - 研究データ管理・公開ポリシー, 同解説 (2023年3月)
 - 部局実施要領策定のためのガイドライン, 部局実施要領サンプル作成
 - 全部局で実施要領策定 (2024年2月)
 - RDMに関するリテラシー教材の整備
- 研究データ管理用ストレージ QRDM の整備 (2023年3月導入, 12月運用開始)
実効容量3PB
- 研究データ公開用に九州大学学術情報リポジトリQIRの容量増強 (30TB + 約60TB)
- 部門 web page に研究データ管理に関する相談窓口開設
- 〔 • 履修証明プログラム「研究データ管理支援人材育成プログラム」 〕



日本語版のダウンロード数
27,000回超 (2024.7.15現在)

■ 九州地区（国立11大学）の状況

データポリシー策定済：8大学， ポリシー解説あり：5大学。

実施要領策定のためのガイドライは九大のみで， ポリシー・解説策定から先の取組みが進まず。

■ スタートアップ支援事業実施にあたっての方向性

- 国立大学を中心とした取組みを行い， その成果を公私立大学に還元

- 九州・沖縄オープンユニバーシティ (KOOU) のネットワークを活用

九州・沖縄の全11国立大学の研究力向上に関する連携協力の共通プラットフォーム

- 2024年度

各大学の状況把握・ニーズ確認 ←

対面での意見交換会， 海外事例調査 & 報告会

- 2025, 2026年度

各大学のニーズに応じたスタートアップ支援

(ex. リテラシー教育のための教材提供， RDM実施要領策定までのアドバイス)

■ 研究者の意識改革と教育

- データの管理・公開のメリットをFDやe-Learningで教育（分野でRDMの厳格度が異なるので分野毎か？）
- 京大ルーブリックも効果的かも（京大の現状が知りたい）
- グッドプラクティスの広報
- **学生への教育**

■ 管理体制の構築とリーダーシップ

- ボトムアップの活動と執行部**から**のトップダウンの関与が重要
- 支援組織や提供するインフラの適正な規模が？　そもそも大学によって何をすべきかの優先順位も異なる

■ RDMのインセンティブ

- RDM実施に対する報奨制や教員評価に結び付けるのは一定の効果が期待できるが…
むしろ、自主的にRDMに取り組むようにすべき。そのためには**メリットの周知が重要**
- 根拠データを含めた即時公開がよいきっかけになる可能性。そのために大学としてデータ公開のための準備

■ 技術サポートとインフラ

- 大学として提供すべきインフラは何か？　（ex. 引継ぐ者がいない退職教員のデータ保存）

■ その他

- 異動に伴うデータの引越しが研究者の負荷に？
所属組織が変わった場合、CokuNin RDMのアカウントやデータはどうなるのか？　ORCIDに紐づけ

■ 財源確保，資金モデルの構築

- いわゆる研究データの10年保存には商用クラウドも有力な候補（download がほぼないはず）
そのためには，大学の予算執行の枠組みの柔軟化，業者側の新たな課金モデルの提案が必要か？
- 受益者負担で大規模な共用ストレージ v.s. 個人管理のストレージ

■ 人材育成と継続的教育

- Web 公開されている教材の利用（JPCOAR, 阪大, 九大, . . .）
- 九大の「RDMの支援人材育成プログラム」の利用
- データチャンピオン制度の可能性（図書館で教育プログラムを提供し，修了すると認定．人材確保にプラス，やる人はその後の就職に有利なのがメリット？）

What is a Data Champion?

Data Champions (DCs) are volunteers who advise members of the research community on proper handling of research data. In this, they promote good research data management (RDM) and support Findable, Accessible, Interoperable, and Re-usable (FAIR) research principles. (Cambridge 大学の web page <https://www.data.cam.ac.uk/intro-data-champions> より)

■ 地域間・組織間での知識とリソースの共有を継続する仕組み

- RDSに関して一步先行く米国の大学では，データキュレーターのネットワークがあり，情報交換，特定のデータに対する扱いに対するコメント，

（スタートアップ支援事業がそのようなネットワーク作りのきっかけになれば）

2024年度の実施内容

- 学術情報リポジトリ (QIR) の登録支援システムの開発・IIIF機能向上 等
- APC支援の拡大キャンペーンの実施、データ収集・検証
- 研究データ管理ストレージシステム (QRDM) の拡張
- 人文系データ公開プラットフォーム (IIIF-TEI対応ビューア等) のプロトタイプ開発
- 図書館内に全館体制の「OAサポートチーム」を組織し、啓発活動等を実施



OA加速化の中期的な取り組み

- 即時オープンアクセス義務化に対応した論文・根拠データのオープンアクセス化
- 戦略的なGoldOA推進に向けたAPC支援策の検討・実施
- 研究データの長期保存環境の整備、様々な分野に対応した研究データ公開環境の整備
- 学内の研究者及び職員のオープンアクセス・オープンサイエンスに対する意識改革
- 永続的識別子の適切な使用とシステム連携による、研究成果の流通基盤の確立